

柏ビレジ餅つき大会

2020年1月12日(日)に開催されました餅つき大会は、心配された天候も何とか持ち、約1,800名の皆様に参加頂きました。

今回は、糯米蒸しを毎年担って頂いていた自衛隊の皆様が、演習日程のため参加されず、急遽、実行委員で知恵を出し合い切り餅を導入し、「磯辺巻き」、「お汁粉」と従来の「こしあん」、「きな粉」を提供させて頂きました。



疾風太鼓

この餅つき大会は、我々疾風太鼓にとって新年初の演奏であるので、いつも引き締めて臨んでいます。今回の演奏は、小学生から大学生を中心とした若いメンバー構成で演奏させていただきました。まだまだ至らぬ部分が多かったと思いますが、楽しんでいただけていたら嬉しく思います。

実際に、列に並んでいる時などに声を掛けていただいた時などは、大きな励みになりました。目立つ大きな失敗はなかったように思いますが、よりよいものをみなさんにお見せするべく、ビレジの夏祭りなどにしっかり備えて疾風太鼓メンバー一同、練習に気合を入れています。

普段は月に2回、自治会館のホールで練習させていただいております。子供たちも、餅つき大会などでの反省を活かし、メキメキと腕を上げてきています。彼らの胆力には驚かされるばかりで、我々大人でも息を切るような練習を課しても、気づくと鬼ごっこやかくれんぼを始めています。体力の余りあるお子様がおりましたら、ぜひ一度見学にいらしてください。疾風太鼓メンバー一同、モチベーションを高めて頑張りますので、今年もよろしくお願いいたします。



餅つき大会サポーターより

実行委員会と共に活動した諸団体が一致団結して作らせて頂いた、お餅は如何でしたでしょうか。昨秋から始まって当日までの長い道のりを経て、白いお餅がきな粉をまとい・餡子に包まれ、焼き切り餅がお汁粉の中を泳ぎ、海苔に抱かれて磯部巻きとなってお届けすることができました。サイドメニューの豚汁と相まって(おっと忘れてはいけない四斗樽のお酒、疾風太鼓、剣舞等)混然となり一大ハーモニーを醸し出したつもりです(笑)

毎年少しずつ変わりながら繋がっていく餅つき大会ですが、今年は新たにお汁粉と磯部巻きも加わりました。関東では焼いたお餅を「醤油」に塗り海苔で巻いて食べますが、九州出身の実行委員が地元の料理法を強気に押し進め、「砂糖醤油」に塗すという自信作です。

お餅を渡す時に、ペアの方の見事な箸捌きに助けられ、楽しい一日でした。来年もサポーターで参加したく、また住民の皆様も食べるだけから作る側に参加してみても如何でしょうか

(サポーター 岡島)

剣友会



餅つき大会にはいつから参加しているだろう。昔のことを記憶している人はもういない。それほど歴史があるということか。

柏ビレジの入居開始から2年後、花野井小学校が創立されてからは一年後の昭和58年、花野井剣友会が始まった。

携わった吉川正則という人だ。白髭をたくわえた仙人のよう

な人だと伝え聞く。見かけたことがある人もいるかもしれない。剣道ブームだったからか、小学生会員は多いときで90名近くいたらしい。花野井小の体育館に入りきらなかったというから、少子化の今では考えられない。

そのうちの何人かは、現在、剣友会で剣道指導をしており、実家もまだ柏ビレジにある。柏ビレジとは長い付き合いだ。そう、ながい。永井正男。剣友会の会長を平成6年から務め、おとし会長職を退いた。花野井には戦後越してきたというから、花野井地区の古株だ。この永井正男の時代には、すでに餅つき大会での演武は行っていた。

私が覚えているのは、9年前。うちの長男坊が3年生のときに初めて参加した。小学生剣士が指導者に打ち込む模範稽古、続いて、指導者が紅白旗を持って剣士同士の対戦を審判する模範試合。あんこ餅の列の人も、きな粉餅の列の人も、見慣れない剣道の動作に興味津々だった。その列の中にいた年長さんのRくん、剣道に魅了され、剣士から勧誘チラシをもらい、その年の春、剣友会に入会した。

家は柏ビレジにあるので、通うのに苦はなかったろう。めきめきと上達し、田中中学校に進学しても剣道を続け、なんと県大会に進出してしまった。

9年前、餅の列に並んでいなかったら、剣道で県大会に出場することもなかったろう。餅つき大会が結んだご縁である。ありがたいことだ。

(花野井剣友会会長 神田泰貴)

テニスクラブ

近隣公園そばのテニスコートで、上手下手関係なくその時にコートにそろった人で和気あいあいとゲームを中心にテニスを楽しんでいます。都合の良い時に来て少しテニスを楽しみ、休憩の間にみんなと雑談し、好きな時に帰る。入部するもしないも自由です。気ままなテニスライフを皆で楽しんでいます。

「私もテニスの仲間に入れて!」と気軽に遊びに来てください。大歓迎!!

現在部員(年会費僅か千円)は約70名、定期的にダブルス・テニス大会を行い、部員相互の親睦を図っています。6月にはテニス講習会を行います。始めるキッカケにしてください。皆さんには健康で長生きして欲しい、少しでも応援できればと考えています。

最後にコートの使用についてご説明します。ビレジのコートは柏市に移管し、公園管理課の扱いになっており、ビレジの人が優先して使える日と、ビレジ外の人に開放する日の区分があります。

ビレジの優先使用できる日は、毎週(火、木、土)、日曜日(第2、第4、第5)です。9時から17時までビレジの方(部員でなくても)なら自由に使用できます。詳しくはコート協掲示板をご覧ください。



「はなみずき」の一年を振り返って



今年度も、ビレジの皆様の憩いの場として、以下3つの事業に取り組んで参りました。

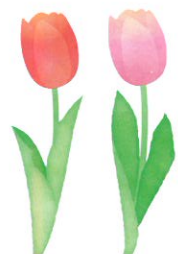
- 1) 喫茶・軽食サービス(コーヒー、紅茶、和菓子、カレーライス他)
- 2) 貸室サービス(展示会、茶話会、懇談会等)
- 3) イベント(映画会、ワイン試飲会、利き酒の会、ジャズコンサート等)

それに加え、4Kテレビを導入し、美しい映像と音楽でお店の雰囲気が和やかになるとともに、日本が興奮したワールドラグビーの試合の観戦(パブリックビュー)等、フル稼働となりました。

さらに、今関心を寄せられている、咽喉健康・介護予防に寄与するカラオケも、皆様楽しんでいただけるよう、順次整備して参りました。

ボランティアを中心とするはなみずきの活動の基本は、自治会の支援・補助で成り立っていますが、これらの活動を、柏市・社会福祉協議会は、住民の集う通いの場の運営という観点から高く評価して頂き、それぞれ補助を頂き、それを住民に還元すべく、本格コーヒーを150円で提供、店舗内の食器・椅子・テーブル・カーテン等のリニューアルを進めて参りました。

はなみずきはスタッフ一同、皆様が喜んで頂けますよう、お越しをお待ちし申し上げます。(コミュニティールームはなみずき 副代表 明渡 晃)



新樹会

新樹会で「キョウヨウ」・「キョウイク」を高めませんか。シニアクラブの新樹会は毎日、何かの行事、サークル活動、会合を行っています。キョウヨウ=今日用がある・キョウイク=今日行くところがあると、家を出て仲間に会える場所があり、活動する機会があります。

雨・嵐以外は毎日、水辺の公園で健康体操をやってます。毎月近郷あるいは東京の名所を散策する歩こう会、大勢の仲間が集まり楽しむ誕生会、あるいはバス旅行など、盛りだくさんの行事があり、さらに16ものサークルで、たくさんの仲間づくりができます。

健康長寿を求めるあなた、是非仲間に入ってください。お問い合わせは右記事務局へ。

(中村04-7134-7002)



ビレジサポート

私たちはビレジ内を拠点とした会員制のNPO法人です。住民の皆さんのご理解とご協力を得て順調に活動を広げてきました。日常生活の中でちょっとした困りごと、庭木への水やりとかゴミ捨て、草取りなどの助け合い活動のほか、庭木の剪定ではこの一年だけでも150件を超える申し込みをいただきました。

ビレジ内の第3・第4緑道と第4公園の除草清掃・剪定活動も柏市から受託して一年を通じて活動をしています。通いの場の活動も一年間に50回の活動を目標に様々に展開しております。(男の料理教室・ロコモ体操など)

ただ、昨年末から新型コロナ肺炎の感染が、思いがけず大きな広がりを見せ、住民の皆さんも何かとご心配かと思えます。私たちの活動もいろいろ制限を受けています。しかしながら、幸い、例えば剪定のご依頼があった場合でも作業は屋外であり、いわゆる濃厚接触という感染の機会もほとんどありませんから、安心して作業を進められます。どうぞご遠慮なくご一報ください。常にビレジの皆さんとご一緒に、と願っています。